

カン

慎中之を襲うて仇を報いた。享年廿三。

カンノメ 神目 鳳至郡藤波の内の小字。

カンノメイズキヒコジンシヤ 神目伊豆伎

比古神社 ↓カムメノイズキヒコジンシヤ
神目伊豆伎比古神社。

カンノヤスタダ 菅野泰忠 田中朋如に就

いて普韻の學を習ふこと三十九年、之を謠曲

發聲の理に應用して、謠要律一卷を著した。

時に安永八年で、恭忠六十餘歳であつた。

カンノイン 觀音院 (一)沿革—金澤の

東觀音山に在つて、山號を卯辰山と號し、眞

言宗の所屬で、卯辰の觀音院とも言はれた

が、今は同地の醫王院に合併せられてゐる。

その本尊觀世普は、もと石浦山王社の本地佛

であつたのを、天正十年愛宕明王院の祐慶が

借り出して、小立野出羽町に奉祀してゐた。

諸書に尻谷坂の上と記するものもこの所であ

る。次いで慶長六年前田利長が、愛宕明王院

を卯辰山の一角に移らしめた時、かの觀世普

も共に移され、明王院の隣地(後の法住坊の

地)に堂宇を建て、居たが、十一年石浦村民

の訴によつて之を返還し、新像を安置した。

然るに十八年利常の女龜鶴の宮參を行つた

際、境内狭小の爲不便が多かつたので、後の

觀音山の地を請ひ受け、元和三年利常夫人に

よつて新たに堂宇を起され、利常も亦客殿庫

裏を寄進した。是が卯辰山觀音院の草創であ

る。是等の建築は寶曆九年の災に罹り、後再

建せられたのであるが、弘化の頃大聖寺の人

奥村永世はその著藩國見聞録に觀音院の堀目

を、『本堂額圓通殿。前に舞臺あり云々。本堂

側市姫宮。山門安仁王、額に普門殿。一之鳥

居、額に長谷山。二之鳥居大慈閣』と記し

てゐる。觀音院に毎年行はれた能は最も有名

なものであつた。

(二)觀音院の塔—卯辰山觀音院境内にあつた

三重塔は、越登賀三州志に承應三年淺野將監、

石川茂平を奉行として建立せしめたとある。

それを寶曆二年長谷觀音院から寶幢寺に宛て

た届書に、元和二年前田利常の建立としてゐ

るのは非であらう。この塔は寶曆九年の大火

に焼けたが、弘化三年綿津屋政右衛門等の有

志又之を建立し、明治維新後觀音堂の廢せら

れた後も尙存したが、廿二年三月五日自焼し

た。

カンノイン 觀音院 鳳至郡中居南に在

つて、眞言宗に屬したが、今は存せぬ。能登名

跡志に、『南村氏神は山王權現なり。神主四柳

氏也。別當醫王院・觀音院・蓮臺院・月光院四

寺年替り也。』とあるが、文中に四寺とあるの

は、一乘院と共に五寺とすべきであらう。

カンノインノウ 觀音院の能 金澤の

觀音院で毎年行はれた能をいふ。初め元和三

年前田利常の子千勝(後利次)は生まれたが、

その年十一月三日觀音院に宮參を爲した。依

つて觀音院では三日・四日兩日神事能を行つ

たが、翌年から四月朔日・二日に定めて毎年

行ふことになつた。それが藩政時代を通じて

行はれた觀音院の能の濫觴である。上述は卯

辰觀音院由来書の記する所である。三州奇談

では之と趣を異にするが、恐らくは著者堀樗

庵の過聞であらう。この能は、諸橋・波吉の

兩大夫が隔年當番で技を演じ、終つて藩の賜

興を受けた。町奉行二人・先手物頭二人・横目

外を取締り、割場足輕も亦出て之を助けた。

見所には外圍を作り、木戸を設け、舞臺正面・

脇正面・地裏には、城下本町の町人の爲に棧

敷を構へた。この興行の諸費用・装束の製作

費等、皆本町の負擔する所であるからであ

る。地子町等のものは、通券を購ふを要し

た。武士に在つては係員以外全く出入せず、

たゞ幼年者のみ、町人に従つて觀覽し得た。

佛寺で行ふものを神事能といふたのは、觀音

院の境内に山王社があり、その祭禮であつ

たからである。

カンノインノウウサンボウカイジュツ

オヨビヒン 觀音院奉納算法解術及批判

中根系關流の算者近藤信行の著で、金澤觀音

院に奉納せられてゐた柴野美啓の門人吉田勇

五郎の算額に對し、その解説の不備を難じた

ものである。

カンノンザカ 觀音坂 金澤卯辰觀音院の

門前なる坂路をいふ。

カンノンザカジタ 觀音坂下 金澤卯辰山

觀音院の坂下をいふ。金澤俳優傳記に、觀音

坂下に座敷女の多く居たことを記してあるの

は寛政の頃のことであるが、その後といへど

も私娼の巢窟であつた。

カンノンザキ 觀音崎 鹿島郡鶴浦の東北

に突出して、能登島の野崎と相對し、小口瀬

戸を挟む岬。

カンノンジタ 觀音下 ↓カナガソ 觀音

下。

カンノンジタオカチマチ 觀音下御歩町

金澤の舊町名。もと御歩の邸地であつたから

油車御歩町と區別したが、今は單に御歩町と

いうてゐる。

カンノンジタダイクマチ 觀音下大工町

金澤の舊町名。觀音町大工町とも呼んだ。藩

政中大工共の邸地として賜はつたことあるに

よる稱呼である。

カンノンジマ 觀音島 ↓カドシマ 角渡

島。

カンノンジユンレイ 觀音順禮 (一)金澤

西國順禮札所—金澤に於ける西國三十三所觀

音の順禮札所は左の如くである。

一番 安房慈光院 二番 大桑長谷院

三番 觀音瑞光寺 四番 町長樂寺

五番 藤棚成福寺 六番 川上法然寺

七番 八坂持福寺 八番 寺町妙慶寺

九番 寺町藥王寺 十番 寺町成學寺

十一番 寺町順行寺 十二番 寺町極樂寺

十三番 寺町安住寺 十四番 寺町伏見寺

十五番 寺町西方寺 十六番 野町千手院

十七番 町雨寶院 十八番 川原寶久寺

十九番 三社常光寺 二十番 古道出雲寺

廿一番 小橋寶壽寺 廿二番 卯辰永久寺

廿三番 卯辰賢聖坊 廿四番 卯辰壽經寺

廿五番 卯辰觀音院 廿六番 町源法院

廿七番 町正教寺 廿八番 馬坂實相寺

廿九番 馬坂高源院 三十番 馬坂集福寺

卅一番 女木獻珠寺 卅二番 町石岩倉寺

卅三番 町波着寺

又森田盛昌の漸得雜記には、左の如く組んで

あるが、これが古い方であらう。

一番 安房慈光院 二番 大桑長谷寺
三番 觀音瑞光寺 四番 藤棚成福寺
五番 町長樂寺 六番 川上法然寺